

はなの企業

地球に優しい「循環系有機肥料」
シンソーよつば

事業所の沿革

うるま市で有機肥料や園芸用の培養土の生産・販売を行う有限会社シンソー。代表取締役を務める與那嶺泰弘さん。ところで「シンソー」とは一体何を意味するのだろうか。與那嶺さんにたずねると「シンソー」とは漢字で「言創」と書き、その読みかたを社名に「真の物を作り出す」との思いが込められた言葉の意味する。つまり、毛ノづくりのこだわの意味が社名に表れている。



「有限会社シンソー」は現在、有機肥料と培養土の四つの商品を主に製造し県内のホームセンターや農協などに販売を行っている。

新技術への試み

有限会社シンソーは、肥料製造用に開発した発酵プラントを導入し、そのプラントでボカシ肥料を製造した後、牛ふん、米ぬか、バガス等を加えて、匂いの少ない有機肥

料の開発・製造に成功した。この技術で商品化した「有機肥料シンソーよつば」は、農家から「匂いが無くて上等だね」、「今まで使用した有機肥料より作物の成長がいい」等の高い好評を得ている。また、「有機肥料シンソーよつば」は平成二十二年一月八日に行われた沖縄県堆肥コンテストで、牛糞部門で第一位にあたる最優秀賞を受賞した。



環境への取り組み

有機肥料を製造する事は、家畜の糞尿を有効活用し環境に優しいリサイクルにも繋がる。シンソーでは、廃棄処理に手を焼いているサンゴの天敵・オニヒトデの有効活用と自社の社会貢献として、オニヒトデ肥料の売上の一部を沖縄のサンゴを守る活動やオニヒトデの駆除活動へ寄付することを検討している。

今後の抱負



沖縄県堆肥コンテストで栄えある最優秀賞を受賞し、この賞に甘えずこれからも農家や家庭菜園を楽しむお客様に喜ばれる商品の提供を行い、さらなる品質の向上を目指しながら、新たな商品開発を行っていききたいと思います。また、商工会が実施している経営革新塾（セミナー）を2年連続受講により経営に対し常に前向きに取り組めるようになりました。今後も商工会の指導協力を受け、販売戦略と営業力アップを図りながら経営革新承認企業の認定に向け頑張つていきたいと思っております。

今後のシンソーの商品に期待してもらいたいと思います。

★お問合せ★
 会社名:有限会社シンソー
 代表取締役 與那嶺泰弘さん
 資本金:2300万円
 従業員数: 2名
 所在地:うるま市石川1206番地3
 電話:098-964-1148 FAX:098-965-1174
 URL:www.shinso-green.com/

OAのパートナーです。



本社 浦添市字港川458番地 Tel.(098)878-7878(代)
 那覇支店 北部支店 八重山支店
 中部営業所 南部営業所 宮古営業所 嘉手納営業所

私たちは、自然環境にやさしいホテルを目指します。



OKINAWA HARBORVIEW
 CROWNE PLAZA
 www.crowneplaza-harborview.jp